

広島商船高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	産業システム工学特別実験	
科目基礎情報							
科目番号	19専15015			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	産業システム工学専攻			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	なし						
担当教員	永岩 健一郎						
到達目標							
(1) 実験・実習を行うために心がけておくべき基本的な事項を認識できること。 (2) 実験・実習を安全に遂行できること。 (3) 内容を理解し、レポートを作成できること。 (4) 実験で得られた結果を分析し、考察することができること。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		実験実習の目標と取り組むにあたっての心構えについて認識できる。		実験実習の目標と取り組むにあたっての心構えについて概ね認識できる。		実験実習の目標と取り組むにあたっての心構えについて認識できていない。	
評価項目2		実験・実習に使用する機器・器具を用いて、基本的な手順をもとに安全に実験・実習を実施することができる。		実験・実習に使用する機器・器具を用いて、安全に実験・実習を実施することができる。		実験・実習に使用する機器・器具を用いて、安全に実験・実習を実施することができない。	
評価項目3		実験・実習の目的・手順・成果を論理的にまとめ、評価・報告することができる。		実験・実習の目的・手順・成果を論理的にまとめることができる。		実験・実習の目的・手順・成果を論理的にまとめることができない。	
評価項目4		実験を実施し、得られた成果を分析し、様々な視点から成果を考察することができる。		実験を実施し、得られた成果を分析することができる。		実験を実施して得られた成果を分析することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		産業システムにおける各専門分野ごとに基礎となる理論・手法や主要な要素の特性などを、実験を通して理解する。また、このような実験を通して創造的かつ主体的にその項目内容について活用・研究できることを目指す。なお実験は学生が以下の各項目から1つ選択するが、原則特別研究の担当教員とする。 【複数教員担当方式】 【クラス分け方式】					
授業の進め方・方法		(1) 実験・実習を行うために心がけておくべき基本的な事項を認識できること。 (2) 実験・実習を安全に遂行できること。 (3) 内容を理解し、レポートを作成できること。 (4) 実験で得られた結果を分析し、考察することができること。					
注意点		(1) 安全な服装・靴を着用し、筆記用具を携帯すること。 (2) 安全基本方針(健康管理、実験環境の美化、約束の遵守)を常に念頭に置き、実習を遂行すること。 (3) 実習は危険が伴うこともあるため、必ず指示に従うこと。 (4) 課題は、期限内に必ず提出すること。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		(1) 実験実習に取り組むにあたっての基本的な心構えについて認識できる。 (2) 実験レポートの書き方について理解できる。 (3) 実験実習を実施する際の災害防止と安全について理解できる。		
		2週	産業システム工学における応用研究に関する討議		他の分野の研究に関する手法および技術を理解し、討論できる。		
		3週	産業システム工学における応用研究に関する討議		同上		
		4週	産業システム工学における応用研究に関する討議		同上		
		5週	産業システム工学における応用研究に関する討議		同上		
		6週	産業システム工学における応用研究に関する討議		同上		
		7週	産業システム工学における応用研究に関する討議		同上		
		8週	産業システム工学における応用研究に関する討議		同上		
	4thQ	9週	産業システム工学における応用研究に関する討議		同上		
		10週	産業システム工学における応用研究に関する討議		同上		
		11週	産業システム工学における応用研究に関する討議		同上		
		12週	産業システム工学における応用研究に関する討議		同上		
		13週	産業システム工学における応用研究に関する討議		同上		
		14週	産業システム工学における応用研究に関する討議		同上		
		15週	産業システム工学における応用研究に関する討議		同上		
		16週					
評価割合							
	試験	小テスト	レポート・課題	発表	成果品・実技	その他	合計
総合評価割合	0	0	45	0	45	15	105
基礎的能力	0	0	15	0	15	5	35
専門的能力	0	0	15	0	15	5	35
分野横断的能力	0	0	15	0	15	5	35